

行政・大学と連携した地域に開かれた大型空き家(学生寮等)活用リサーチ事業 有限会社ノコーポレーション (omusubi不動産)

別添資料4

大規模空き家の活用を推進するため、松戸市内に存在する空き家となった学生寮をテスト的に運用し、アーティスト滞在型のシェアハウスとしての事業化を検討。その過程で、行政/大学/地域の大企業と連携・協議し、実現可能な事業スキームの提案を行った。

■ 事業概要

事業部門	ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	千葉県松戸市
背景・課題	地域内にある学校、社員寮、学生寮、工場跡地などの大規模な空き家は、放置すると地域へのマイナス影響が大きい。しかしながら既存の手法では単に土地を分割し、宅地分譲されることが多く、中長期的に地域資源を衰退させる可能性がある。こういった物件の活用にあたっては、規模の大きさから単一事業者が事業リスクを取ることは難易度が高く、行政、大学、地域の大企業、空き家活用事業者の連携が不可欠である。
目的	行政/大学/地域の大企業/空き家活用事業者が連携した大規模空き家の活用モデル展開のためのリサーチ事業を行う。その過程で、イベントやWEBを通じ、地域の関係者や全国の空き家事業者へ大規模空き家の活用についての周知・啓蒙を行う。
連携する団体・役割	千葉県松戸市生涯学習部、一般社団法人PAIR、芸術系国立大学、地元ガス会社

①大規模空き家再活用の事業スキーム構築と所有者への事業化提案

運営体制案

マスターリース方式：契約期間 最低10年～



テスト運用を通じた実現可能性のあるスキームを構築。事業化に向けて協議を継続する。

②アーティストと協働した空き家活用検討イベントの実施



松戸に拠点を置くアーティストインレジデンスと連携し、イベントを実施。(11回,175名参加)

③イベントやテスト運用に基づいたレポート記事の作成とWEB発信



建物の強みを生かしながら街と繋がり、アーティストや地域の可能性を広げる場へ。

omusubi不動産 2時間前



「アート」と「交流」を軸に多様な人を掛け合わせ、新しい可能性を生み出していく。9/25『地域とア...』

omusubi不動産 3週間前



イベントレポートやインタビュー記事を自社のnoteにて公開

https://note.com/omusubi_estate/